

「新市場創造型標準化制度」の活用が決定されたテーマの概要

<p>○テーマ名 (1)「非破壊検査—ボルトテストによるアンカーボルトの健全性試験方法—打撃力波形方式」に関する標準化</p>	<p>○提案者 日東建設株式会社【北海道】</p>
<p>○テーマの概要、期待される効果</p> <p>設備機器などに取り付けられたアンカーボルトの品質、固着状況の診断は、専門の検査員による打音を確認する試験・検査を中心として行われていますが、高度な熟練度が要求されます。</p> <p>本提案は、対象物を壊さずに設備機器などに取り付けられたアンカーボルトの品質、固着状況などを調べる非破壊検査方法の一つです。</p> <p>本提案における標準化により、試験機器が適切に使用、管理・保全される環境が醸成されることで、社会的インフラ（道路・港湾・河川、運輸、建設など）に供される関連設備・機械器具などに用いられるアンカーボルトの信頼性の向上や、試験機器の新たな市場の形成に寄与するとともに、競争力向上が期待されます。</p>	

<p>○テーマ名 (2)「熱硬化性樹脂成形に用いる微細・精密形状金型用含ふっ素化合物被膜の離型性試験方法」に関する標準化</p>	<p>○提案者 株式会社東亜電化【岩手県】</p>
<p>○テーマの概要、期待される効果</p> <p>精密機器に用いられる精密レンズは、透明性・耐熱性が高く微細・精密構造の転写性に優れる熱硬化性樹脂を用いて製造する需要が高まっていますが、もともと接着力が強い熱硬化性樹脂を金型成形で精密に形作るには、離型性の良い金型技術が求められます。</p> <p>離型性を良くするためには、樹脂に離型性を保つ与える材料を混合する方法や、金型表面に離型材料剤を塗布する方法など多様な方法がありますが、精密レンズのような特に微細・精密な加工を要する場合には、離型性確保のために既存の方法を用いることで精密レンズの透明度品質などに悪影響を与えてしまう可能性危険性があります。このことから、金型表面に強固な性質を保つ優れた離型耐久性を有する離型膜を形成させる必要があり、これを標準化するものです。</p> <p>本提案における標準化により、熱硬化性樹脂では金型成形が困難であった超微細な成形加工も可能となることから、新たな市場の形成に寄与することが期待されます。</p>	